

お薬手帳について

「お薬（くすり）手帳」という言葉は、病院や医院で処方箋をもらって、保険薬局でお薬をもらわれている方は一度はお聞きになったことがあるのではないのでしょうか。
「お薬手帳」とは、お薬の名前、飲む量、飲む回数、飲む時間などを、薬をもらう度に記録する手帳です。

複数の医療機関や診療科にかかっておられる場合、1冊で現在だけでなく過去の処方内容が全て分かるため、以下のようなことに役立ちます

- 1 同じ薬を重複して処方されていないか見つけることができます
- 2 相互作用（飲み合わせ）のチェックをすることができます
- 3 副作用が起こった薬を記録に残しておくことで、次回も同じ副作用が起こるのを防ぐことができます

お薬の名前は覚えにくいものも多く、先生に「今何を飲んでおられますか？」と聞かれたら「血圧の白い薬」といった答えしかできないことが多いのではないのでしょうか。

当院でも、受けられる検査や手術の種類によっては、あらかじめ他院でもらわれている薬の正確な情報が必要となることがあり、お薬手帳があれば、その情報を素早く知ることができるので大いに助かります。

病院や薬局などに行かれるときは、診察券や保険証とともにお薬手帳をお忘れなくお持ち下さい。

Q & A

Q どこでもらえるの？

A 保険薬局で発行しています。

（当院では、7月より、丹波市薬剤師会のご協力を得て、退院時にお薬手帳をお渡しております。）

Q 費用はかかるの？

A 手帳の発行は無料ですが、保険薬局での処方内容記載には若干の負担が必要です。（数十円）

Q いっぱいになったらどうするの？

A 新しい手帳を交付しますが、大事な記録ですので捨てずに保管しておいて下さい。

Q 2つの薬局に行っているけど、2冊もらえばよいの？

A なるべく「かかりつけ薬局」をもちましょう。手帳は1冊に記入してもらいましょう。

Q いつも同じ薬をもらうけど毎回持っていくの？

A お薬を間違いなく飲めているか確認するために、毎回、保険薬局で記録していただいで下さい。

この一冊であなたの安心・安全が得られます

見て安心
見せて安心
おくすり手帳



平成19年8月発行